

目 次

月報アルバム——人工衛星レーザー測距装置	頁 260
日本書紀などわが国古記録中の星食記事の検証	齊藤 国治 262
日本天文学会 1978 年秋季年会プログラム	269
ESO「天体写真研究会」からの話題	高瀬 文志郎 274
会員諸氏の太陽黒点観測報告	276
お知らせ・雑報	278
新刊紹介・書評	280
訃 報	281
天文観測施設めぐり (X) 兵庫, 岡山, 鳥取, 島根, 広島——10月の天文暦	282

——表紙写真説明——

月による星食

上左: 1978年7月30日, 月令24.4の月に食されるアルデバラン, キヤノン f=600mm, F5.6, 3秒露出, エクタクローム64より黒白に転写。上右: 1974年3月20日, 月令25.7, 明け方の東天で見た金星食, 口径20cm, F8反射赤道儀の直接焦点にアサヒペンタックスを付け, 8分の1秒露出, フジクローム R-100より黒白に転写。下: プレヤデスの星食, 1969年4月19日, 月令2.6, 口径10cm, F5の屈折赤道儀の直接焦点で10秒露出, ハイスピード・エクタクロームより黒白に転写。
(写真提供 藤井 旭氏)

新 刊
天文・宇宙の辞典

天文・宇宙の辞典編集委員会編



編 集 委 員

赤羽 賢司	坪川 家恒
大沢 清輝	広瀬 秀雄
進士 晃	古畑 正秋
新羅 一郎	宮本 正太郎
高瀬 文志郎	守山 史生
竹内 端夫	(50音順)

B5 / 630頁 / 月面図 /
全天恒星図付 / ¥12,000

天文学は、近年発見の時代にあると云われるくらいに、新しい知見が相次いで現われている。そして研究方法も、特に宇宙物理学の飛躍に負うところが多大である。本辞典は編集・執筆に第一線の研究者79名の参加を得、学術用語集にそって編纂されたものである。

天文ライブラリー 7

天文計算入門

——三角関数から軌道計算まで——
長谷川一朗著 A5 / 310頁 / ¥2,500

〒160 東京都新宿区三栄町8
振替 東京0-59600番

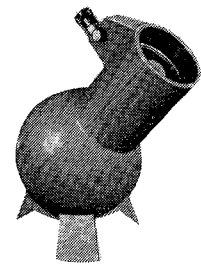
恒星社 内容見本星
TEL (359) 7371

難しい操作や手入れが一切不要
家族みんなが楽しめる球形望遠鏡

アストロスキャン
口径108mm, 焦点距離445mm, 標準倍率16倍

定価 ¥65,000
(正立像イレクター付)

- 別売付属品
- 三脚取付金具 ¥11,200
 - 撮影用パーローレンズアダプター ¥12,300



▲カタログはG係
まで(切手300円)

《本機の誇る10大特長》

1. 一般双眼鏡では得られない高解像力と明るさ。
2. 3°の広視野で見やすく、目的物を捕えやすい。
3. 密閉タイプで像は常に安定。
4. 熱による膨張率が低いバイレックス材使用で、このクラスでは他に見られない音波長という高面精度。
5. どんな位置にも固定し、長時間の観測にも疲れさない。
6. とっさの観測にも即座に應ぜられる使いやすさ。
7. 難しい光軸修正やその他の手入れは一切不用。
8. 小型で軽量、高さ43cm, 重さ4.5kg。
9. 汚れ知らずのコンパクト設計で保管場所の心配もありません。
10. カメラの望遠レンズとしても使用可能。

CELESTRON INTERNATIONAL社 日本総代理店

KOYO 株式会社光洋 〒100 東京都千代田区有楽町1-8-1
旧比谷パークビル9階 TEL (03) 213-1571